

たごだん



夏の風物詩。 おおまつり大民謡流し

8月25日(火)~27日(木)、十日町中心商店街で十日町おおまつりが開催されました。25日夜の大民謡流しでは、市内36団体から約1,700人が参加。浴衣を着た参加者たちは十日町小唄と深雪甚句のうたに合わせて踊り、過ぎ行く夏を惜しんでいました。

愛称「だんだん」は、方言のおいもつだんだんどうも、「河津段丘・稲田」[ステップアップ]などを表しています。

主な内容

- 乳がん・子宮頸がん検診 2-3
- 大地の芸術祭 4-5
- めざせ!観光交流都市/石彫シンポジウム 6-7
- 棚田サミット/協働のまちづくり情報⑨ 8-9
- 市長への便り 10-11
- 頑張る地方応援プログラム/鉄道検討会議 12-13
- 美術展募集/市民スポーツ大会ほか 14-15
- 地域の風~支所からのたより~ 16-17
- ときめきネットワーク/元気予報ほか 18-19
- まちの話題TOPICS/臨時職員採用 20-21
- お知らせ・ガイド 22-25
- ジュニア芸術祭-飛渡第一小学校- 26

女性なら 受けなきゃソン!

乳がん・子宮頸がん検診



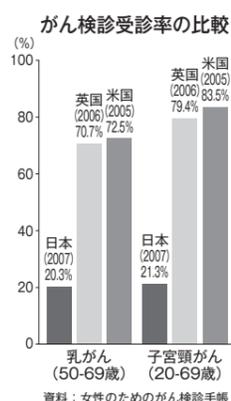
毎年9月を「がん制圧月間」と定め、がんとその予防についての正しい知識の普及と早期発見・早期治療の普及に全国の組織を挙げて取り組んでいます。子宮頸がん検診、乳がん検診は、大腸がん、胃がん、肺がん検診と並んで、検診が有効ながんです。今回は、市の子宮頸がん検診、乳がん検診に携わっている高木成子医師、上村斉医師のインタビューを交えながら、検診の大切さをお伝えします。

まだまだ低い受診率

欧米では8割以上の女性が、乳がん検診、子宮頸がん検診を受けています。しかし、日本のがん検診受診率は先進国の中で最低水準の約2割にすぎません。

十日町市の受診率は、乳がん検診では26・2%、子宮頸がん検診では25・2%（18年度推計）となっています。

がんを他人事と考えず、積極的に検診を受けましょう。



「子宮頸がん」って何?

子宮がんには、膣に近い場所にて

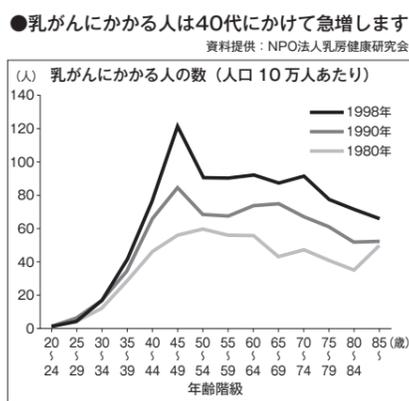
当市の20年度の子宮頸がん検診（細胞診断）結果をみると、精密検査が必要となった受診者の割合は、20代がもつとも多く、6・6%となっています。このため、若い人も自身の健康を確認するため、積極的に検診を受けましょう。

「乳がん」って何?

日本人女性がもつともかかりやすいのが乳がんです。その割合は20人に1人といわれ、決して他人事ではない数字です。

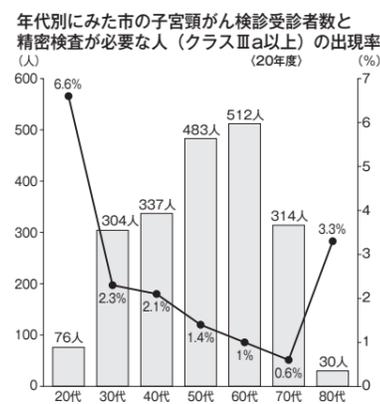
乳がんは、女性ホルモンの刺激を受けてできる乳腺のがんで、40代後半にもつとも発生します。女性にできるがんの中で一番多く、年間4万人が乳がんになっています。

マンモグラフィ（乳腺専用のレントゲン）を使った検診を2年に1度受けることが勧められています。



アンケート協力のお願い

十日町市では、胃がん検診の受診率向上に向けて、胃がん検診の受診状況などに関するアンケートを、市民2,000人（無作為抽出）の皆さんにお送りしています。ご協力をお願いします。



子宮頸がん検診は、医師が直接肉眼で子宮頸部を視診することにも、ブラシなどを使って頸部の細胞を採取し、細胞が正常かどうかを判定します。この細胞診断では、正常から悪性までを6段階（ⅠⅡⅢⅣⅤ）にクラス分類します。精密検査が必要となるのはⅢからⅤです。

子宮頸がん検診は、医師が肉眼で子宮頸部を視診することにも、ブラシなどを使って頸部の細胞を採取し、細胞が正常かどうかを判定します。この細胞診断では、正常から悪性までを6段階（ⅠⅡⅢⅣⅤ）にクラス分類します。精密検査が必要となるのはⅢからⅤです。

検診を受けましょう

市の乳がん・子宮頸がん検診は、10月まで行っています。（女性特有のがん検診推進事業）でクーポン券が届いた人は、その後も実施

2月の調査で市のがん検診を申し込まなかった人でも、病院・人間ドック・職場検診などで受ける機会のない人は、随時申し込みできます。

対象年齢は子宮頸がん検診が20歳以上、乳がん検診が40歳以上、受診間隔は2年に1度（昨年度受けていない人が対象）です。詳しくは、健康支援課成人保健係（☎757-9764）または、各支所市民課にお問い合わせください。

子宮頸がん検診はタイミングを逃さずに

検診を受けましょう

以前は50〜60代に多かった子宮頸がんが、最近では20〜30代で見つかり、治療を受ける人が増えていきます。不正出血やおりものの感じが変わったなど、自覚症状があるにもかかわらず、「こんなの大したことはない」という理由で受診が遅れるケースがあり残念です。

子宮頸がんの多くは、性行為でのヒトパピローマ・ウイルスの感染が原因です。性交体験が低年齢化する中、20代で子宮頸がんにかかる人もいます。1回でも性行為をすれば感染の可能性を否定できません。とりわけ若い人のがんは、進行が速いため、早期発見が大切です。

診察を受けましょう

子宮頸がん検診は、医師が肉眼で確認のできる唯一のがん検診です。今はがんではないけれど、細胞が正常ではなく、形が変わってきている状態を「異形成」といいます。ま

たかき医院
高木成子 医師



た細胞診断でⅢの約5%ががんになる可能性があるため、この検査結果をもらったときは特に注意しましょう。

医師から出される指示を守り、3か月後・半年後などの定期的な診察をしっかり受けてください。

受診のタイミング

子宮頸がんの受診には守ってほしいタイミングが3つあります。

一つは、婚約や妊娠前に検診を受け、健康確認をしてください。病院で行っている妊婦の子宮頸がん検診でがんが見つかり、難しい判断を迫られることもあります。二つ目は、受診間隔です。結果が異常なしの人は「2年に1度」受け続けてください。「異形成」や「要精密検査」となり、医師から受診間隔を指示された場合は、きちんと守りましょう。三つ目は、検査時期です。閉経した人はいつでも受診可能、生理のある年代の人は生理直後が最適です。ただし、自覚症状があったらすぐに受診してください。

乳がんを他人事と 思っているあなた に伝えたい

過信と放置は禁物

「自分だけにはがんにならない」という思い込みで、がん検診を全く受けない人がいます。1度も乳がん検診を受けず、数年前から異変に気づきながら、痛みがでるまで放置し、外来受診したときにはかなり進行している人がいました。

自覚症状のないうちに定期的に検診を受け、異変が起こる前にがんを見つけることが肝心です。気になる症状が出たら、すぐに外科外来にかかってください。乳がんは女性の病気ですが、専門は外科です。

乳がんの特徴

40〜50代で乳がんになると、転移しやすく、がんの進行も速いため、何よりも早期発見が大切です。早期発見・治療すればほぼ治癒します。恥ずかしがらずに2年に1度の乳がん検診を欠かさず受けてください。

勸上村病院
上村 斉 医師

検診方法と特徴

乳がんは自分で発見できる唯一のがんです。自分にしか分からない違和感、皮膚のつれ、ゴリゴリしたしこりなどを、敏感な人は自分で触ることで見つけられます。自己検診法を行い、「前と違う変化」を探してください。

乳がん検診では、視触診に加え、マンモグラフィ検査（乳房のX線撮影）を実施し、触っても分からない小さなしこりや石灰化などの乳腺の変化を検査しています。

何よりも早期発見

乳がんは、しこりを2センチ未満で見つけることが大切です。2センチ以上になると放射線治療などが必要になる場合があり、時間的・経済的な負担が増します。そして何より精神的ダメージは計り知れませんが、早期発見・早期治療を心がけましょう。



芸術祭を引き立てる
多彩なイベント

■問合せ 芸術祭推進室
☎757-2637



軽妙な演技が好評だったカンボジアサーカス（8月13日）

多くの芸術作品を鑑賞できることに加え、コンサートやワークショップなどを楽しめるのも、大地の芸術祭ならではの味わい。これらの催しをとおして、作家から作品作りの手ほどきを受けたり、作品の見方や制作意図などの話が聞けたりと、芸術祭を身近に感じることができるとあって、参加者からは好評です。

50日間の会期中、延べ約100回ものイベントが各地で開催され、にぎわいを呼んでいます。

サーカスシアター
「カンボジア、ぼくらの村で」

今回も世界各地から多くのアーティストが大地の芸術祭に訪れ、多彩なパフォーマンスを披露しました。目玉イベントの一つであるサーカスシアター「カンボジア、ぼくらの村で」は、8月13日(休)から16日(日)までの4日間、まつだい農舞台を会場に6回の公演を開催。約1,400人の鑑賞者が、出演したNGO組織フアー・ポンルー・セルバク（PPS）のサーカス学校で学んだ若者による軽快かつパワフルな演技を堪能し



フィナーレは、出演者全員に観客も加わり、踊りながら中央の大大鼓を囲みました

ました。

PPSは、カンボジア北西部バタンバン州で絵画や音楽、演劇などの教育活動や福祉活動をとおして、地元の子どもたちの育成、自立支援を行っている団体です。中でも、PPSのサーカス学校は活発な活動を行っている。現在、世界各地で公演を行っています。

公演期間中、会場はカンボジアの民族色漂う装飾が施され、演奏に合わせた空中演技や力強い組み演技で会場を沸かせました。

音・舞・リズムの贈り物
「BEATアジア」

8月22日(出)は、まつだい農舞台で日本とインドネシアのミュージシャンの共演「BEATアジア」が開催されました。日本からは、大地の芸術祭に毎回出演し、人気を博している和太鼓集団「鬼太鼓座」と筑波を拠点に活動を続ける創作田楽舞「自然生クラブ」が、インドネシアからは、打楽器とダンスを織り交ぜた「カハナン・イニシスリ」と「ビモ・ウイオハットモ」が出演。4団体が柵田をバックに力強い演奏と優美な舞踊を繰り広げ、会場を熱気に包みこみました。

川西エリア

コンサート
「響きあう風景」

8月9日(日)、千手中央コミュニティセンターで、コンサート『響きあう風景』（作家…ミュートス）と児玉達雄（学校町）さんによる民話の語りが開催されました。

ミュートスは、ハンディキャップの有無を超え、音楽やアートをとおして人と人がつながり合う、アーティストや介護士、看護師が集う団体です。今回の大地の芸術祭では、ナカゴグリーンパークに、知的障がい者更生施設「なかまの家」の利用者の皆さんとともに蚊帳と布の作品を展示しています。

今回のコンサートは、この作品制作活動の一環として企画されたもので、ミュートスのメンバーによるグラスハーブ（注）やチェロの演奏と



地元の合唱グループ「がちょうの会」やなかまの家の皆さんとの合唱も行われました。

（注）ゴブレット（ガラス製足付酒杯）の縁を指でこすって音を発する演奏法。

原始未来レイブ

8月23日(日)、節黒城跡キャンプ場奥に展示されている「越後妻有レイブノーハット2009」（作家…関口恒男さん）で、「原始未来レイブ」が開催されました。レイブノーハットは、竹や木の枝で作られたドーム状のシェルターで、中には水と鏡から映し出された虹が幻想的に光っています。来訪者は、作家自らがDJとなったダンスミュージックに合わせ、自然とダンスを踊りだし、静かな森が不思議なホールへと変わっていききました。



十日町エリア

草木染め
ワークショップ



大地の芸術祭会期中の金・土・日曜日、中条新水地区に展示されている作品「千色屋」（作家…開発好明さん）内で、染色のワークショップが行われました。「千色屋」は千色に染められた空き家作品です。

このワークショップは、ヨモギやフキなどの草木から抽出した煮汁で、白布に絞り染めを行うもので、会期中21回にわたり実施。参加した子どもたちは、布に模様をつけるための輪ゴム留めに苦戦していました。煮込み時間は興味深そうに、真白な布が染まっていく様子を見守っていました。水洗いの後に輪ゴムを外すと、布の上に鮮やかな模様が染め上がり、参加者は大地の芸術祭の楽しい思い出にっていました。

松之山エリア

雪室宿

雪国の知恵「雪室（ゆきむろ）」の中に造られた異空間に入場することができ作品（作家…山田健二さん）。大蔵寺高原に展示されたこの作品内で、実際に貯蔵したジュースや酒類の味覚も楽しむことができ。外から雪のトンネルを抜けて展示室へ案内された来場者は、「中に入って出てきただけなのに、別の世界にきた気持ちになる」、「この中で飲んだら絶対おいしいよ。車だから飲めないけど」と、家族連れなどの感嘆の声でにぎわっていました。室内は、水温熟成の環境や時間を来場者も体験できる施設となっていて、来場者の体温が連鎖し、少しずつ形を変えていく様子も楽しめます。



雪室の中での天水越神楽による獅子舞

第15回 十日町石彫シンポジウム

8月1日(土)から市総合体育館北側広場で、3人の作家により制作が行われていた第15回石彫シンポジウム(十日町石彫シンポジウム実行委員会主催)は、23日(日)に会期を終了、除幕式が行われました。芸術文化のおおまちづくりを目指して、平成7年度から取り組まれてきたこの事業で制作された作品は、今回で71点となりました。作家たちの魂のこもった力作をご覧ください。

■問合せ：生涯学習課(中央公民館内) ☎757-8918

作品は、ほくほく線十日町駅前市道西中央通り線 歩道に設置されています



「SEED OF PEACE」 — 雲の上から —

本多 正直さん
(埼玉県鷲宮町・47歳)



「平和の種」をどう育てるか。それは私たち一人ひとりにかかっています。平和への願いを込めた作品を制作しました。



「わらしこ」

浜田 彰三さん
(山梨県富士吉田市・65歳)



未来のある子どもたちを見守ってほしい。そんな願いを込めて作りました。地域の皆さんの温かいご協力のおかげで完成しました。



「川に抱かれて」

阿部 光成さん
(東京都北区・32歳)



この地域を流れる信濃川をイメージした作品です。川の流れが始まり、山を潤し、人の生活を潤す。今回、作品の制作をとおして彫刻を作る意味を考えさせられました。



～地域の皆さんの
おもてなし企画のご紹介～



うまさぎっしり新潟

新潟DCのシンボルマーク

今までこのコーナーでは、新潟デスティネーションキャンペーン期間中に、市や市観光協会が実施する観光誘客企画を紹介してきました。今回は市内の温泉旅館などが実施する、うまさぎっしりのおもてなし企画を紹介します。



地元の素材たっぷりのオリジナルライスボウル

■松之山温泉 ライスボウル&スイーツめぐり
松之山温泉の各旅館や飲食店では、おみさんや料理人が工夫を凝らした、個性豊かなスイーツやどんぶりが10月から登場します。地元素材を使ったスイーツや魚沼産コシヒカリによるオリジナル井ノ山ライスボウルを味わうことができます。スタンプリーも同時に行い、参加した人にはもちろん、「松之山温泉ミスト」をプレゼントします。

ライスボウル&スイーツめぐりは10月1日(休)から12月20日(日)午前11時から午後3時に開催され、スイーツめぐりは8店舗、ライスボウルめぐりは6店舗で楽しめます。※大地の芸術祭期間も先行開催中

料金はスイーツが飲み物付きで700円、スイーツのみは500円です。ライスボウルの料金はそれぞれのお店によって異なりますのでお問い合わせください。

そのほか、松之山温泉に観光に来た人などを対象に里山風景を周遊するツアー商品、「里山の達人タクシプラン(ガイド付き4,000円)」や、美人林などで気軽にハイキングを楽しむ「心美人ハイキングプラン(ガイド付き1,800円)」、農業や郷土料理の講習会などプチ田舎体験ができる「うちの田舎へいらっしやいプラン(ガイド付き4,500円)」も楽しむことができます。

●問合せ
松之山温泉合同会社まんなま
☎596-2114

■十日町温泉郷昼食付き日帰りパッキング「魚沼産コシヒカリと地元山菜たっぷりの六箇御膳でもてなしプラン」
六箇、二ツ屋、塩之又温泉では、自家製コシヒカリや地元山菜、きのこを使用した昼食ごつとつ温泉でもてなします。宿泊も大歓迎です。

期日は10月1日(休)から12月20日(日)で、料金は3,500円です。(昼食、入浴、十日町からの送迎付き) ※予約が必要

●問合せ
十日町温泉郷六箇旅館組合
☎757-1547

※詳細は市観光協会ホームページをご覧ください

観光絵はがき秋版を 配布します

市内の秋の観光名所や食の魅力などを紹介した「観光誘客絵はがき秋版」を、市報といっしょに各世帯2枚ずつ配布します。夏版同様、ぜひ市外の友人・知人向けにご利用ください。

今年の秋は新潟デスティネーションキャンペーンが開催され、市内でも魅力的なおもてなし企画が実施されます。観光誘客絵はがきで十日町市の魅力を全国に情報発信しましょう。



十日町TMO 第4回 石彫の絵コンテスト

8月14日(金)、十日町商工会議所で十日町TMO主催による第4回石彫の絵コンテスト表彰式が行われました。小学生から128件の応募がありました。特選、準特選は次のとおりです。

- 特選 水品 聡 (東小4年)
- 準特選 高橋 叶 (千手小2年)
- 準特選 山田奈緒 (十日町小6年)
- 準特選 牧野莉奈 (川治小4年)

■問合せ 十日町商工会議所
☎757-5111



全国棚田(千枚田)サミット 実行委員会からのお知らせ

その3

問合せ 実行委員会事務局 ☎597-2222

10月16日(金)・17日(土)に市内で開催される、第15回全国棚田(千枚田)サミット。17日には、5つの分科会がクロス10・情報館・市民会館で開催されます。分科会では、棚田にかかわる人々が全国から集まり、現状や将来の棚田のあり方について議論します。また、十日町市内で活動している市民の皆さんも参加して分科会を盛り上げます。

今回は、午前9時から行われる第2分科会「みんなで支える棚田の農業」の概要を紹介します。

第2分科会の概要

◎テーマ

『みんなで支える棚田の農業』

◎コーディネーター

堀口健治さん(早稲田大学副総長)

◎内容

「日本の原風景」と言われる美しい棚田ですが、現状では担い手がいなくなりつつあります。全国各地では、棚田を守るためにさまざまな取り組みが始まっています。農作業ボランティアや棚田オーナー制度、企業参入、NPO法人による保護活動など多様なものがあります。これらを踏まえ、地元だけではなく外部からの働きかけをおして棚田の農業を支える方法を考えるため、デイス

カッションを行います。

◎パネリスト

◇山岸公男さん

(松代地区/星峠区直接支払代表)

◇阿部三代継さん

(十日町地区/市農業委員長)

◇岩野行孝さん

(前十日町地域振興局農業振興部長)

◇前浜隆広さん

(株)アストラゼネカCSR

◇マネジメント部長

◇早稲田大学生

(松代地区での交流事業参加者)

協働のまちづくり情報⑱

「雪の国のおはなし」 編集委員を募集します

協働のまちづくりモデル事業の一つ「雪の国のおはなし」では、編集にかかわる編集委員を募集します。情報紙の編集に興味のある人・雪の問題に興味のある人、雪国特有の課題・雪対策のあり方について、いっしょに情報発信してみませんか。ふるってご応募ください。

「雪の国のおはなし」 ってなに?

「雪の国のおはなし」では、市民・事業者・市が協働して、雪処理対策など雪国特有の課題について考えていきます。そのうえで、市報とおかまち「だんだん」などを通して、「雪対策ニュース」のような情報発信を定期的に行っていきます。

「除雪のマナーが悪い」、「雪をうまく処理・利用している」など雪をめぐる問題や知恵について考え、情報発信する情報紙の編集作業を行います。また、除雪マナーの良い例や悪い例を、市報やホームページでお知らせするだけでなく、市内各地の雪対策事例紹介や雪の達人紹介など、雪処理に役立つ情報や雪につい



棚田の現状を分科会で発表する
山岸公男さん(星峠・59歳)

『星峠の棚田』という、ドラマ天地人や、さまざまなメディアで多く紹介され、カメラマンが毎日のように訪れています。しかし、棚田に人が来てもお金が地元で落ちるといことはありません。逆にトイレの維持費がかなりかかるし、畑に入って作物を荒らされたりするなども大変。そこで協力金をお願いするために、募金箱を作るなどして、集落でも棚田保全をしていこうと頑張っています。棚田と向き合うには大変なことが多いですが、公園内にトイレを作ってもらい、市からいろいろ支援してもらった中で、来訪者からは喜んでもらっているのでもいいのかなと思います。都会から来た人たちの面倒を見てあげて、後で礼状が届いたりすると、やはりうれしいですね。

今回の分科会をおして伝えたことは、集落が置かれた現状を皆さんにお話しすることです。星峠集落は80歳近い人が現役で農業を行い、集落の平均年齢が69歳を超えています。だから集落の農業者が共同で営農を行う集落営農の話などが出ていますが、この集落で集落営農というのは多分無理だろうと思います。やはり若い人がいないのが一番の問題ですね。勤めに出てもいいから普通に集落にいてくれれば、土・日曜日の仕事が終わるときにちよつと応援を頼むことができるんですが、若い人みんなが集落を離れてしまい、街の方に出ています。

てのさまざまなデータを紹介していく予定です。そこで、この雪の情報紙の編集委員を募集します。いっしょに十日町市の雪対策について考えてみませんか。

募集要項

1、活動内容

- (1) 「雪の国のおはなし」の記事や写真などの編集・デザイン
- (2) 雪情報の取材
- (3) その他必要なこと

※会議(ワークショップ)は夜間及び休日になる場合があります。(月2回程度)

※報酬などはありません。

2、任期

10月～平成22年10月

3、募集人員

5人程度

4、応募要件(①と②を両方満たす人)

- ① 情報紙の編集に興味のある人・雪の問題に興味のある人
- ② 16歳以上の市民及び市内在勤・在学者

5、応募方法

次の内容を明記のうえ、直接または郵送、FAX、Eメールで総合政策課協働のまちづくり推進室

に提出してください。

- ① 住所、氏名、生年月日、電話番号
- ② 市民以外で、市内在勤者・在学者の場合はその旨
- ③ 「雪の国のおはなし」編集委員に応募しようと思った動機をまとめたもの(400字程度、様式任意)

6、募集締切り

9月25日(当日消印有効)

7、その他

書類選考をする場合があります。

■応募・問合せ

協働のまちづくり推進プロジェクト委員会
〒948-8501 十日町市総合政策課協働のまちづくり推進室内 ☎757-3693 (内線235) FAX 752-4635 Eメール tsogo@city.tokamachi.jp



あなたの声を聞かせてください 市長への便り

市民の声を市政に反映するため「市長への便り」を実施しています。本年度も5月10日号と8月10日号の市報に、便りの用紙を折り込みました。8月31日までに262通の便りをいただいています。その中からいくつかを紹介しします。また、十日町市のホームページ (<http://www.city.tokamachi.niigata.jp/>) でも紹介しています。



●問合せ：総務課広報聴係 ☎757-3112 (内線213)

十 日町病院は民間委託ありきではなく、行政(県)が担うように方向転換を希望します。

新潟県は、県立県営での病院改築は新発田病院を最後とし、今後の改築に際しては、県が設置主体となり、運営は民間の手法を活用してより柔軟な病院経営が図れるよう、指定管理者制度などを活用した中で公設民営の運営形態としていきたいとの考えを持っています。

十日町病院の運営形態につきましては、中山間地域における中核病院として、どういった形態の運営主体から医療を担ってもらうことが圏域の住民にとって最適なのか、新潟県や厚生連とも話をする中で、津南町とも連携して、そのうえで、新潟県に要望していきたいと考えています。

J R東日本の発電開始の条件は、ほくほく線の運営をJR東日本が譲り受けることを条件にすること。

取水の開始条件についてのご提案ですが、私としては、今回のJR東日本の違法取水とこれまでの十日町市への対応について、十日町市民への謝罪と説明がまずあつてしかるべきと考えています。

そして、十日町市が過去に被災たさまざまな被害について清算することが第一歩です。このことがしつ

住 居表示の2重化をやめてほしい。

十日町地域市街地の住所につきましては、非常に分かりづらいものになっています。

「住居表示に関する法律」に基づく方法では、新たな町割を形成し直さなければならず、行政区(町名)の変更も伴うことから、地籍調査事業と併せて町界町名を整理し、登記簿上の地番を変更することにより、二重表記の解消を図ることとしました。

基本的には、登記簿上の字及び子・丑・寅などの地番符号を削除し、それに代えて新たに行政区名を登記簿に付すことにより、住所を「行政区・地番」の形で表示します。

(例) 十日町市辰甲〇〇番地↓十日町市学校町一丁目〇〇番地

地籍調査事業につきましては、今まで遅延となっていました吉田地区が平成21年度にようやく完了のめどがつくことから、当初計画より遅れましたが、十日町地域の市街地に平成22年度から着手する計画です。今後、関係する市民の皆さんには内容を周知し、順次事業を進めていきますので、その際はご協力くださるようお願いいたします。

りと方向づけられた中で初めて、次の段階に進むことになるかと考えます。

従いまして、現段階で取水開始条件を述べることは差し控えたいと思います。しかし、この問題を解決する過程では、さまざまな手段を講じて地域の発展に結びつけていかなければならないと考えています。

また、ほくほく線の存続・発展についても、しっかりと考えて対策を講じていかなければならないと考えています。

市 報の折り込みが多すぎると思っています。

できるだけ市報の記事として入れられるものは市報に掲載して、折り込みを少なくするようにしています。各種団体のお知らせなどで折り込みが多くなっています。今後もその折り込みが本当に必要かどうか十分に見極め、内容なども充実するように努めていきたいと思っています。

車 イスでも市民会館を利用しやすいように、玄関のエレベーターを改修、スロープを設置してほしい。

市民会館・中央公民館のエレベーターは職員に連絡していただき起動させる、リフト式の簡易エレベーターです。また、ホール内に車イススペースがなく、ホール利用の際には

民 間と職員の給与の差があまり大きすぎる。

市の職員の給料は、ご存じのとおり国の制度に準じておりラスパイルス指数という国家公務員との比較において、県内20市中10番目と中位ではあります。

しかし、市内の民間企業の状況と比較すれば高い状況にあると考えています。

このこともあり、5月に臨時議会を開き、6月のボーナス(期末勤勉手当)を、国に準じて0.2か月分(約11%)削減する条例改正を5月29日に議決いただき、削減しました。

今後も総人件費の削減に向けて、職員組合と協議していきたいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

大 地の芸術祭、大自然の中に違和感を与えるような作品は増やすべきではない。

大地の芸術祭作品は、北川総合ディレクターが専門家の観点で作家・作品を決定し、作家との協議を経て、制作しています。作家は、地域の皆さんのお話やその背景(歴史や風土など)などを参考にイメージを膨らませます。そして、多くの作品は、地域の皆さんとともに制作が進められます。その過程の中で、お年寄りから子どもたちまで含めた地域コミュニケーションの深まりや、作

いまだにご不便をおかけしている状態です。

市民会館・中央公民館とも老朽化が進んでいますので、改修工事を順次進めています。車イスの人も安心してご利用いただけるよう、今回要望がありましたところはすぐに改修していきます。スロープは、こう配を緩く設置するためのスペース確保が難しいため、安心して使用できるエレベーターを設置します。

父 子家庭への援助についてお願いします。

父子家庭に対して児童の養育費を支給する国の制度はありませんが、全国的にみて極めて少ないものの、独自で児童扶養手当制度と同様の制度を設けている自治体があります。

十日町市内の対象世帯は、現在のところ45世帯あまりで、年間の支給額は1,900万円程度が見込まれます。財源の見直しをつけたうえで、できるだけ早い年度に実施したいと考えています。

市 民体育館をきれいにしてほしい。

市民体育館は、総合体育館や他市町村の市民体育館に比べるとあまりきれいではありませんが、平成20年度は年間延べ24,242人もの利用があり、建ててから46年間、市民の皆さんから大切に利用され愛され

家や地域外サポーターとの交流も図られます。このような制作手法もあります。また、作品は、「アートを道しるべに、里山を巡る」というキャッチフレーズが表しているように、妻有地域全体にちりばめられています。これは鑑賞に訪れた人が広く地域を回遊して地域の人と交流したり、地域をより知ってもらえるようにとの北川ディレクターの意図が込められています。

大地の芸術祭作品には、平和、人の生死や時間の経過、農業・産業など地域住民の営み、宇宙、自然の大切さなどをテーマにしたものがたくさんあります。抽象的な作品は、見ただけでは作家の意図を理解することが難しいことも事実だと思います。作品鑑賞の楽しみ方は人それぞれで、一つの決まった形はありませんが、鑑賞の際には、作品解説を参考にしたり、家族で感想を話し合ってみたり、できれば制作にかかわった(地域の)人のお話を聞くことができること、なお一層その作品の意図を感じ取ることができると思います。また、そうすることで、家族のコミュニケーションも深まると思います。

てきた立派な施設です。施設が古くなってしまいましたので、ちょっと使いづらい面やご不便をかける面もあるとは思いますが、壊れているところなどはきちんと直して大切に維持管理していきますので、ご利用していただく皆さんからも、今後とも大切に使用していただき、ますますよろしく願います。

川 西地域では、市町村合併後住民健診会場が少なくなりました。合併前の形で住民健診をしてほしい。

近年は、人口減少とともに住民健診受診者数が市全体で減少しています。川西地域では16年度は1,461人でしたが、昨年度は987人と474人減少しました。このような状況ですので、本年度は3会場5日間に変更しました。

市は半日当たりの受診者数を『おおむね120人』として健診機関と委託契約し、医師を含め30人のスタッフをそろえて住民健診を実施しています。

坪山集落センターは、受診者が減少したため千手中央コミュニティセンターに変更されていた、また、市と健診機関でバスの送迎を行い、地域の皆さんにご利用いただきました。

会場は、施設や申込みの状況によって市全体で見直していて、経費の

プロジェクト名称	目的・概要・具体的な成果目標	期間	具体的な事業・施策（名称）	事業費 （計画全体） 単位：千円	事業費 （21年度） 単位：千円
新産業創造・地域経済活性化プロジェクト	(目的、概要) 新たな産業を創造し、雇用の場の確保や市民生活の向上を図ります。また、IT関連産業などの誘致や個人起業の促進を図ります。 (具体的な成果目標) ・「半農半陶」を目指す陶芸家数 平成19年度：0人 → 平成23年度：50人 ・地元産コシヒカリ導入学校数 平成20年度：全37校 → 平成23年度：全34校 ・経営相談・診断活動などの支援企業者数 平成20年度：4法人 → 平成23年度：8法人	平成20年度～23年度	妻有焼の里づくり	74,481	8,500
			地産地消推進事業	20,146	3,478
			6次産業振興事業	18,512	11,465
			小計	113,139	23,443
若者・子供が輝くまちづくりプロジェクト	(目的、概要) 若者が生きがいを持って本市に定住し、安心して子どもを産み育てることができる環境整備を推進します。 (具体的な成果目標) ・予防接種助成率（接種件数／小児総数） 平成20年度：1回目62.88%、2回目59.11% → 平成23年度：1回目65.00%、2回目63.00% ・放課後児童健全育成事業実施施設数 平成19年度：4か所 → 平成23年度：12か所 ・不登校児童生徒の割合（発生率） 平成20年度：1.48% → 平成21年度：1.20%	平成20年度～23年度	小児インフルエンザ予防接種費用助成事業	33,305	8,326
			放課後児童健全育成事業	143,217	38,998
			不登校児童生徒適応指導教室設置事業	32,000	8,647
			小計	208,522	55,971
ほくほく線活性化プロジェクト	(目的、概要) 長野新幹線が2014年に金沢まで延伸され、上越新幹線やほくほく線の利用客の激減が予想される問題に対し、新たな戦略を練り直します。また、飯山線やバス交通と連携し地域交通としての利便性の確保を図ります。 (具体的な成果目標) ・廃止代替民営路線バス1日1便当たりの乗車人数 平成19年度：483人/便 → 平成23年度：498人/便 ・市営バス1日1便当たりの乗車人数 平成19年度：1.03人/便 → 平成23年度：1.07人/便 ・鉄道輸送再生・活性化に向けた計画策定とその実施 平成20年度：計画策定未了 → 平成21年度計画策定完了、実行段階へ	平成20年度～平成23年度	公共交通利用アップ等推進事業	4,007	1,810
			鉄道輸送再生・活性化推進事業	3,022	1,000
			ほくほく線沿線地域振興連絡協議会活動促進事業	3,452	899
			小計	10,481	3,709
総計				1,632,440	656,231

“頑張る地方応援プログラム”の取り組みを紹介します

■問合せ
総合政策課企画政策係
☎757-3193

市では、平成19年度から“頑張る地方応援プログラム”に取り組んでいます。市の総合計画の重点プロジェクトをこのプログラムに沿って取り組み、総合計画を着実に推進していきます。

頑張る地方応援プログラムとは：魅力ある地方に生まれ変わるよう、地方自治体が独自のプロジェクトを自ら考え、そのプロジェクトに積極的に取り組む地方自治体を国が支援する制度です。詳しい内容は問い合わせください。市のホームページでも紹介しています。

頑張る地方応援プログラム 平成21年度応募の一覧

プロジェクト名称	目的・概要・具体的な成果目標	期間	具体的な事業・施策（名称）	事業費 （計画全体） 単位：千円	事業費 （21年度） 単位：千円
持続可能な地域力の再生プロジェクト	(目的、概要) 市民の知恵や行動力を生かし、地域力の再生を目指します。地域力を支えるには市民一人ひとりが地域活動に積極的に参加する意識を持つことが不可欠であることから、人づくり、人育てを推進します。 (具体的な成果目標) ・体験交流などに取り組む団体数 平成20年度当初：15団体 → 平成23年度末：30団体 ・まちづくり活動に取り組む団体数 平成20年度：30団体 → 平成23年度：40団体 ・支援集落数 平成20年度当初：0集落 → 平成23年度末：53集落	平成20年度～23年度	創ろう！自分の田舎（ふるさと）とおかまち！事業	20,930	6,124
			まちづくり活動支援事業	22,000	5,500
			地域復興支援員事業	—	—
			小計	42,930	11,624
交流人口300万人拡大プロジェクト	(目的、概要) 山や川、棚田と美しい集落、郷土料理、酒、温泉などといった市内各地域の観光資源を生かして、ほかの地域に誇れるまちづくりを目指すことで、交流人口の拡大を図ります。 (具体的な成果目標) ・交流人口 平成17年度：200万人 → 平成23年度：250万人 → 平成27年度：300万人	平成20年度～23年度	十日町雪まつり開催事業	83,531	18,031
			大地の芸術祭開催事業	630,910	400,710
			クロアチアピッチ活用事業	66,346	34,786
			吉田クロスカントリー競技場活用事業	230,000	45,000
			観光拠点整備事業（ミオンなかさと大規模改修）	207,500	52,500
			小計	1,218,287	551,027
安全・安心のまちづくりプロジェクト	(目的、概要) 震災復興、克雪体制、休日夜間の医療体制など、関係機関との連携による体制整備を進めます。また、市民一人ひとりが自立し、お互いを助け合い、安全・安心のまちづくりの一員となる仕組みづくりを推進します。 (具体的な成果目標) ・家庭の廃食用油年間回収量 平成20年度当初：2,500リットル → 平成23年度末：5,000リットル ・ペレット燃料年間利用数量 平成20年度当初：150トン → 平成23年度末：500トン ・木造住宅耐震化率 平成19年1月現在：53% → 平成27年度末：76% ・集落安心づくり事業取り組み団体 平成20年度末：32団体 → 平成23年度末：50団体	平成20年度～平成23年度	環境共生のまちづくり推進事業	8,951	2,707
			木造住宅耐震対策事業	13,530	3,850
			集落安心づくり事業	16,600	3,900
小計	39,081	10,457			

7回目の鉄道検討会議を開催しました

8月20日(木)、7回目となる会議を開催しました。冒頭に、7月末まで実施した「地域行動計画」案の市民意見公募（パブリックコメント）の結果を事務局が説明し、続いて計画の最終案の検討が行われました。

その結果、最終案は会議で了解され、今後の市の計画として正式決定されることになりました。計画決定後には、概要を紙面で紹介する予定です。

なお、市民意見公募では、特に意見が寄せられませんが、引き続き市民の皆さんから問合せや意見をいただき、計画を実行するうえで反映するよう努めていきます。

■問合せ 総合政策課企画政策係
☎757-3193



検討会議の様子



第5回 市民スポーツ大会

10月12日（体育の日）を中心に、市民スポーツ大会が開催されます。さわやかな秋の一日を楽しみましょう！

期 日	大 会 名	会 場	問 合 せ
10月3日(出)～4日(回)	ロ・マン24 in まつだい第19回「24時間耐久リレーマラソン」	松代クロスカントリーコース、松代グラウンド	松代総合体育館 ☎597-3752
10月4日(日)	相撲競技大会	武道館相撲場	春日 昇 ☎752-5816
	第25回ジュニアバドミントン大会	市総合体育館	飯塚 聖一 ☎758-2662
	市民ハイキング	長野県 斑尾山	金子 武司 ☎757-4050
10月10日(土)	第15回まつのやま湯島駅伝大会・第37回健康マラソン	松之山クロスカントリーコース、松之山グラウンド	松之山公民館 ☎596-2265
10月10日(出)～11日(回)	少年野球大会・400歳野球大会	笹山・総合公園・信濃川運動公園野球場	小林 聡 ☎757-9383
10月11日(日)	フットサル大会	ベルナティオフットサルコート	高橋 重成 ☎752-3555
	テニス（シングルス）大会	総合公園	丸山 滋 ☎761-7533
	第43回パパママバレーボール大会	川西総合体育館	玉村 浩之 ☎757-3114
	第45回市民体操競技大会	十日町高校東体育館	滝沢 広 ☎757-1752
	ソフトテニス大会	信濃川運動公園庭球場	櫻澤 晋介 ☎758-3278
	ソフトボール大会	信濃川運動公園野球場	高沢政弘 ☎090-4833-1512
10月12日 (体育の日)	2009十日町RUN・ランリレーカーニバル	陸上競技場	近藤 俊介 ☎756-2866
	宮沢杯・小山杯争奪バスケットボール大会	市総合体育館	池田 実 ☎757-9169
	市民スポーツの日卓球大会	川西総合体育館	高橋 博夫 ☎752-6274
	第38回郡市柔道大会	武道館柔道場	庭野 富吉 ☎757-2891
	市民剣道大会	南中学校武道場	根津 雅之 ☎752-2837
	空手道競技会兼第5回西野杯争奪空手道大会	十日町総合高校体育館	西野 弘幸 ☎757-8339
	第5回十日町市長杯争奪ゲートボール大会	水沢運動公園	小海 勝衛 ☎757-6075
	第24回中里健康ウォーク兼第13回ミオンウォーク	中里地域内約15kmコース	中里公民館 ☎763-2493
10月18日(日)	市民バドミントン大会	市総合体育館	飯塚 聖一 ☎758-2662
10月22日(休)～23日(日)	第14回川西ソフトバレーボール大会	川西総合体育館、川西中学校	川西公民館 ☎768-2308

第42回 十日町市美術展作品募集

部 門	作品規格（）内は大きさ
第1部 日本画	額ぶち付きのこと（100号まで）
第2部 洋画	油絵・水彩・パステルなど、額ぶち付きのこと（8号～100号）
第3部 版画	額装（モノタイプ版・ドライマウント加工は不可）（長辺116cm以内）
第4部 現代美術	（常識の大きさを超えないこと）
第5部 彫刻	（常識の大きさを超えないこと）
第6部 工芸	染・織・焼物・つる・漆・革・竹・わら・紙工芸など（縦・横・高さとも180cm以内）
第7部 書道	額装または枠張り表装（仕上がり寸法が縦額は幅76cm以内、縦182cm以内。横額は幅152cm以内、縦76cm以内） ※釈文票は楷書ではっきりと記入すること。ペン書き・ワープロなど可
第8部 写真	木製パネル張り。額ぶち不可（単写真は半切以上、全紙まで。組写真は長辺103cm以内）

- ◆会期 10月17日(土)～20日(火)
- ◆会場 市民体育館
- ◆出品作品 各部門とも1人2点以内（未発表作品に限る）、額装する場合はガラス不可
- ◆出品料 一般：1点1,000円、高校生以下：1点500円
- ◆作品搬入出 搬入：10月13日(火) 午前11時～午後8時に会場に持参
搬出：10月20日(火) 午後4時30分～6時30分
- ◆審査会 10月14日(水)
- ◆授賞 市展賞（賞金3万円）、奨励賞（同1万5,000円）ほか
- ◆審査員 池山阿有氏（日本画・洋画・版画）、山口納富子氏（現代美術・彫刻・工芸）、相澤五峰氏（書道）、白旗史朗氏（写真）
- ◆募集要項 各公民館、情報館に配置
- ◆問合せ 中央公民館 ☎757-5011



全国大会出場 おめでとう!!

8月17日(月)、十日町保健センターで夏季全国大会出場選手激励壮行会が行われました。出場選手を紹介します。（敬称略）

- ◆第36回全日本中学校陸上競技選手権大会（8月21日(金)～24日(月)／大分県大分市）
目黒みのり（十日町中）
藤田麗夏（南中）
服部弾馬（中里中）
- ◆第49回全国中学校水泳競技大会（8月21日(金)～23日(日)／福岡県福岡市）
宮崎 緑
大島 櫻
- ◆第32回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（8月26日(水)～30日(日)／東京都江東区）
宮崎 緑
大島 櫻
- ◆第25回全国小学生陸上競技交流大会（8月28日(金)～29日(土)／神奈川県横浜市）
片桐 瞬
澤口莉子
（ともに十日町アスレチッククラブ）
- ◆第17回日韓中ジュニア交流競技会（8月23日(日)～29日(土)／韓国）
【バレーボール】
田中優美（帝京長岡高 南中出）

衆議院議員総選挙 十日町市の結果

衆議院議員総選挙が8月30日(日)に実施され、即日開票されました。十日町市を含む新潟6区では筒井信隆氏が当選しました。開票結果などをお知らせします。

※小選挙区（新潟6区）

	候補者名	得票（全体）	得票（十日町市）
当	筒井 信隆	124,894	19,310
	高鳥 修一	89,672	17,728
	橋本 正幸	9,222	1,918
	国領 大聖	1,836	366

※比例代表（北陸信越ブロック）

政 党 名	得票（十日町市）
民 主 党	16,873
自由民主党	13,501
日本共産党	2,529
公 明 党	2,526
社会民主党	1,648
国民新党	1,214
新党日本	397
幸福実現党	301

※投票者数

	当日有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
小選挙区	50,472	40,017	10,455	79.29%
比例代表	50,472	40,004	10,468	79.26%
最高裁判所 裁判官国民審査	50,427	39,109	11,318	77.56%

2009 トキめき新潟国体 デモスポ

■問合せ 中里公民館
☎763-2493

貝野スポーツクラブ
羽鳥日香里さん(小6)

目標は優勝

真面目に練習して、試合に集中できる、けじめのあるチーム作りを心がけています。目標は“優勝”です。

ユニバーサルホッケー大会を 成功させよう!

いよいよ、大会まで1か月を切りました。参加チームも決まり、大会当日は白熱した試合が期待されます。今回は、出場する2チームのキャプテンに、その意気込みを聞きました。



中里ファイターズ
井口 陸さん(小6)



練習の成果を出したい

ユニホッケーは試合がおもしろい。勝つのもいいけど、負けたときの悔しさが、「次は頑張るぞ!」という気持ちになります。そしてうまくなるように練習できるんです。毎週金曜日にたくさん練習をしてきました。その練習の成果を国体の大会で出したいです。目標? うん、7位、3位: やっぱり優勝したいな。

なが が ホ ッ ケ ー フ ラ ン ク ク ラ ブ 通 信

中里支所
☎763-3111

がんばるぞ!
大会に向けて、保育園児チームが発足しました。大会まで一生懸命練習します。大会当日は、ちびっこたちが元気良く走り回ってやることでしょう。



保育園児チーム発足!!

川っぺりで夕涼み 清津川川っぺり音楽祭

今年で3回目となる「清津川川っぺり音楽祭」が、8月15日(土)、清津川フレッシュパークで行われました。芋川集落の有志を中心に行われた同イベントは、無数のキャンドルをみんなで灯すことから始まります。ほのかに明るくなった公園で、古沢和良グループのジャズやレインブックのライブがスタート。古沢和良グループのライブでは、「ザ・ギフト」や「ミスター・ロンリー」などの名曲が演奏され、観客らはゆったりとした一時を楽しんでいました。同グループの古沢さんは、「毎年来ていますが、広いところで演奏すると気持ちがいいですね」と話していました。



国道117号線から稲荷街道の朱色の大鳥居をくぐった先、桔梗原集落はその昔、桔梗が咲き誇る原野であったことからその名が付いたそうです。今ではその原野はなく、広大な水田が広がっています。集落の中には、天明6年(江戸時代中期)に京都の伏見稲荷の分神として迎えられた田開稲荷神社があります。桔梗原の開拓に伴って迎えられたこの神社は、五穀豊穡・商売繁盛の神として集落の人たちに親しまれています。集落内には、清津川から水を引く工事や新田開拓に尽力した庄屋五郎兵衛碑があり、当地域の稲作の歴史を物語るところです。



中里 たから 探し

桔梗原編

たびらきいなり

気分は早大生? 出張理科実験教室

8月28日(土)、松代中学校で松代早稲田交流30周年記念の理科実験教室が開催され、1・2年生の生徒53人が参加しました。1年生は『金属を使って重さをはかろう』、2年生では『エレキギターを作ろう(音とは何か)』の実験が行われ、普段の理科の授業では体験することができない内容でした。2年生の柳亜希さんは、「エレキギターを作ると聞いたときは難しそうでいやだなと思いましたが、やってみたら楽しく作ることができました。理科があまり好きではなかったけど、ちょっと好きになりました」と感想を書いてくれました。



「第7回アサッテカップ」

休耕田を舞台に、ビーチボールを使った5人制のサッカー大会。名・珍プレー続出の好ゲームが展開されました。(8月16日(日) 勘平)



「土鍋でおにぎり」

地元産のお米を直径1mもある土鍋で炊き、参加者全員で350個のおにぎりにして、おいしくいただきました。(8月2日(日) 木和田原)



「日本一長いそばの巻き寿司」

松代観音祭の名物イベント。145人がかりで70m60cmを巻きあげ、福島県喜多方市を抜き日本一に返り咲きました。(7月19日(日) 松代)



「ツール・ド・妻有」

「ツール・ド・妻有」の儀明休憩所。地元の人たちの声援ときゅうり漬けが選手の皆さんに大好評でした。(8月9日(日) 儀明)

まつだいの夏をフォトで紹介
今年の夏は大地の芸術祭が開催されたこともあり、各地区で多彩なイベントが行われました。そこには訪れる人をもてなし、いっしょに楽しむ地元の人たちの笑顔があふれていました。



まつだいの ステーション

松代支所
☎597-2220

松代の自然

サミダレハギ

「漢字」は文字とあり、古代中国の紀元前10世紀以前の殷の時代に発生し、漢の時代にわが国に渡ってきたものですが、わが国独自に作ったものを「国字」といいます。春の代表的な花木であるツバキに「椿」、秋の代表的な草花であるハギに「萩」の字を当てたのは国字の一例です。「サミダレハギ(五月雨萩)」は、秋にはまだ早すぎる梅雨どきに花を咲かせます。ハギの種類は非常に多



サミダレハギ

く、当地ではケハギ(方言名クラハギ)が普通で、秋の山の斜面に咲く様はまさに秋の代表です。ケハギの中でも早い時期に花を咲かせるのがサミダレハギで、種類としては独立した別のものでなく単なる変種に過ぎません。当地では7〜8月にまれに見られるだけです。ハギが本格的に咲く季節は9月ごろで、せつかく美しい景観で山の斜面を飾っても、稲の取り入れに躍起となつている人々の目には映じないでおびただしく散り敷いた花を機械の車輪で踏みじりながら通過していただきます。鑑賞する余裕を持ちたいものです。(文と絵 高橋八十八)



上村 彪雅 ちゃん
かみむら ひゅうがちゃん
平成19年8月20日生まれ
上新田1

とっても元気なひゅうがちゃんは、歌と踊りが大好き！最近はおまわりごっこが得意です。パパとママとおまわりへ行ってアンパンマンの風船を買ったり、初めて海へ行って遊んだり、夏をいっぱい楽しみました。

あいらる キッズ

51



根津 姫花 ちゃん
ねつ ひめかちゃん
平成17年10月16日生まれ
山本町2

にわかに乗ったりおみこしを追いかけたりして、大好きなおまつりを楽しんだひめかちゃん。車も大好きで、大きくなったら妹のかりんちゃんといっしょに、みんなを乗せておっきなデコトラを運転するのが夢です。

ときめき ネットワーク

地域密着型でお客様のために

地元の高校を卒業後、JAグループに入社して14年がたちました。入社当時はラポートで結婚式を中心に担当していました。平成15年に現在の部署に異動してからは、車両の販売を手掛ける営業を担当しています。人とかかわり会話をするのが好きなので、この仕事は僕にとつての天職ですね。弊社では、エンジンが付いているものなら何でも取り扱っています。車も国産車はもとより外国車も取り扱っていますので、お客様のニーズに合わせた商品を提案することができます。

数年前からは24時間態勢でお客様のトラブルに対応する体制を整えました。事故や故障などで、夜中にお客様のもとに駆け付けることがあります。お客様のホッとする顔を見ると、この仕事をやっていて良かったと実感します。これからも地域密着型で頑張りたいと思います。生涯にわたり、お客様と共に歩んで行けたら良いですね。



羽鳥 淳也 さん
1976年生
株式会社ランドCarエル勤務

先月の高橋香苗さんからのパトタッチ。

10月10日の自殺者の状況

市では、平成19年に自殺で亡くなった人は27人で、県でワースト4位と多い状況です。また、平成16～18年の累計では、県と同様に男性は50代、女性は80歳以上の死亡者が多い傾向があります。

警察庁の調べでは、原因動機は県では①不詳②健康問題③経済生活問題の順に多く、市でも同様に①不詳②健康問題の順になっています。

自殺の原因に多く「うつ病」

健康問題の中では、「うつ病」が関係していることが多いとい

9月は「新潟県自殺対策推進月間」
たった一人のあなたです。たった一人の命です。



問合せ 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

うつ病の自覚症状	
精神的症状	
<ul style="list-style-type: none"> 憂うつ 集中力がなくなった 興味がわかない 自分を責め立てる イライラしやすい 	
身体的症状	
<ul style="list-style-type: none"> 睡眠障害（早朝覚醒） 疲れやすくなった 頭痛（特に重苦しい） 食欲がない 肩こりや体重の減少 	

周りから見て分かる症状
<ul style="list-style-type: none"> 表情が暗い 反応や判断力が鈍くなった 仕事などでミスが多くなった 仕事を休みがち 外出しなくなった（家に閉じこもるようになった） 飲食やタバコの量が以前より増えた



「みんなの健康相談」を利用してください。

家族や仲間がこころの悩みを抱えていると気づいたら、訴えや気持ちにできる限り耳を傾けましょう。表面的な励ましは禁物です。

もし、こころの病気の兆候があるときは、早めに専門家に相談するようにしましょう。

市では、精神科医による「こころの健康相談」を行っています。本人でなく、家族の人が代わりに相談することもできます。相談は無料で秘密は守られます。希望する人は、健康支援課成人保健係へ連絡してください。



市民生活課環境政策室 ☎757-3740

平成20年度にエコクリーンセンター（ごみ焼却場）を見学した小学生（17校474人）の感想文を抜粋しました。自分の出したごみがどのように処理されていくのか、自分の目で確認し、ごみについて、エコについて、環境について考えた様子がうかがえます。皆さんも見学をして、環境問題を考えるきっかけにしませんか。

見学の申込みは環境衛生課（☎752-3924 FAX757-1751）まで。

ごみ減量のすすめ⑥

「エコクリーンセンター」を見学して

【奴奈川小学校3年男子】
トレーは、水をきって出さないといけなかったことがわかりました。また、買い物に行くときは、エコバッグをつかったほうがいいとわかりました。これからは、トレーも水をきって出したり、買い物もエコバッグをつかっていきたいです。ぼくもごみをへらすためにできるだけ努力をしたいです。それからうちの人も伝えて家族でもエコかつどうをしていきたいです。

【鏡島小学校4年女子】
わたしは見学をしてごみができるようになっていくのがよくわかりました。これから気をつけたいことは白い紙のうらをメモにつかたりすることをやっしていきたいです。

【東小学校4年男子】
一番ちょうびっくりしたことは、ペットボトルでできたぐん手があることを初めて知りました。

【吉田小学校4年女子】
私は、1日に50～70トンのごみが出ることにびっくりしました。私もごみをできるだけ出さないようにして、まだ使えるものはすてずにもう一度つかいきたいと思います。



臨時職員採用（緊急雇用）のお知らせ

8月10日号の市報でお知らせした、国の緊急雇用対策予算を活用した臨時職員の追加採用を次のとおり実施します。すべての業務について、9月14日(月)以降にハローワーク経由で募集します。そのほか、委託事業実施に伴う民間事業者による15人程度の臨時雇用も予定しています。

■ 申込み・問合せ：ハローワーク十日町 ☎757-2407

勤務先	業務内容	任用期間	募集人数
総務課	データベース入力及び文書整理保存作業	10月1日(木)～22年3月30日(火)	3人
財政課	入札関係事務ほか	10月1日(木)～22年3月30日(火)	2人
産業振興課	商工業調査及びデータベース構築	10月1日(木)～22年3月30日(火)	2人
生涯学習課及び市内公民館	公民館事業の事務補助及び事業の運営補助	10月1日(木)～22年3月30日(火)	5人
博物館	資料整理及び台帳入力	10月1日(木)～22年3月30日(火)	2人
スポーツ振興課	地域総合型スポーツクラブの運営	10月1日(木)～22年3月30日(火)	5人
スポーツ振興課	清掃及び修繕ほか	10月1日(木)～12月28日(月)	2人
各支所地域振興課 (川西・中里・松代・松之山)	地域協議会の運営	10月1日(木)～22年3月30日(火)	4人
川西支所農林建設課	除雪関係窓口事務ほか	10月1日(木)～22年3月30日(火)	1人
松代支所地域振興課	一般事務及び観光イベント業務	10月1日(木)～22年3月30日(火)	2人
松之山支所市民課	台帳整理及びデータ入力	10月1日(木)～22年3月30日(火)	1人

運・動・の・重・点

◎高齢者の交通事故防止

交通事故死亡者の6割近くが高齢者です。高齢者の交通事故には、次のような特徴が挙げられます。

【時間】夕暮れ時から夜間にかけて

【場所】自宅の近く

【状況】道路横断中

高齢者の皆さんは、見通しの良い場所で左右の安全を十分に確認したうえで、車が通り過ぎるのを待って横断しましょう。

◎夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

歩行者は、外出するときは目立つ服装をし、反射材を活用しましょう。

秋は夕暮れが早くなります。運転者は早めにライトを点灯し、こまめに上向きライトを切り替えて歩行者の早期発見に努めましょう。

自転車利用者は、夕暮れ前に前照灯をつけ、反射器材を自転車に取り付けましょう。

◎すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

すべての座席でシートベルト着用義務があります。シートベルトの重要性を認識し、正しい着用を習慣付けましょう。チャイルドシート使用は親の愛です。大切な子どもの命を守りましょう。

◎飲酒運転の根絶

飲酒運転は、運転者はもちろん、お酒を提供した人や車を提供した人も罪に問われます。「飲んだら乗らない 乗るなら飲まない」を実践しましょう。

9月21日(敬老の日)～30日(水)
秋の全国交通安全運動
夕暮れの危険を減らせ 早めのライト



慰霊と世界恒久平和を願い 広島・長崎へ

8月5日(水)から7日(金)まで、十日町市と原水爆禁止十日町市協議会では、原爆犠牲者への慰霊と世界の恒久平和を願い、市民代表として庭野茂美団長ほか18人(うち十日町中学生4人、中条中学生4人、中里中学生4人)を広島市へ派遣しました。派遣団は、原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参列し、広島市や広島赤十字・原爆病院、広島原爆養護ホームに義援金などを届けたほか、青少年を中心とした平和・文化イベントへの参加や被爆者の体験談を直接聞くことができ、参加者にとって貴重な体験となりました。また、8月8日(土)から10日(月)まで、長崎市にも3人を派遣しました。9月10日発行の協議会広報紙「十日町市原水協だより」に参加者の感想文を掲載しましたのでご覧ください。



まちの話題
TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3112)へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics

宿泊者100万人達成 ベルナティオ

8月26日(水)、当間高原リゾートベルナティオの宿泊者が平成8年10月にオープンして以来、4,712日目に100万人に達しました。家族4人で旅行に来て、100万人目の宿泊者となった元橋英世さん(東京都大田区・43歳)は、「家族そろって来た旅行で、偶然100万人目になれてとてもうれしいです。今回3回目の宿泊ですが、ベルナティオは自然が豊かで魅力があり、毎年来るのを楽しみにしています。今回はサイクリングを楽しんだり、芸術祭を見たいです」と喜んでいました。元橋さん一家には、ベルナティオ宿泊券4人分と十日町産新米コシヒカリやきのこと、新そばなど、「新潟うまいもの便」の目録が贈られました。



在来植物を守るうー!

8月29日(土)、水辺の楽校つまりつひろばで、特定外来植物「アレチウリ」の駆除作業が行われました。これは、草花や小低木を覆いつくし生育を妨げるアレチウリから、ひろばに生息する在来植物を守るために、水辺の楽校活用協議会が主催し、毎年この時期に開催しているものです。この日は雨が降るあいにくの天候となりましたが、早朝7時より十日町信濃川愛護組合ほか9団体から48人が参加し、大きく成長し木々の幹や枝まで繁茂したアレチウリを駆除しました。





お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111



中里地域 消防演習・防災訓練

消防団による消防演習や応急救護訓練、炊き出し訓練が行われます。
●日時 9月13日(日) 午前8時(雨天時・8時50分) 正午
●会場 中里中学校グラウンド(雨天時・中里中学校体育館)
●問合せ 中里地域振興課 (☎763-2511)

動物愛護ふれあい フェスティバル

長寿犬猫の表彰や警察犬・災害救助犬の模範演技、ポニーの乗馬など、動物たちとふれあうイベントです。
●日時 9月20日(日)午後0時45分〜3時※長寿犬猫の表彰は正午
●会場 べ

第6回きものの街のキルト展

9月19日(土)~10月4日(日)

6回目を迎えるキルト展が今年も開催されます。キルトで飾られた街並みをゆっくり鑑賞してみませんか。

◆キルトサークル作品展示

会場：中心市街地商店街(本町通り、駅通り、コモ通りほか)を中心に98会場

入場料：無料

◆キルトコンテスト作品展示

会場：キナーレ

入場料：無料

◆特設展「田川啓二の世界〜オートクチュールビーズ刺繍と私の宝物展〜」

会場：キナーレきもの歴史館

入場料：700円

●問合せ きものの街のキルト展実行委員会
事務局(市観光協会内) ☎757-3345

ルナテイオ特設芝生広場※雨天の場合は屋内で長寿犬猫の表彰のみ行います
●入場料 無料
●問合せ 市民生活課環境政策室 (☎757-3740)

震災フェニックス 空想〜千夜一夜物語

マリンバ&打楽器の響きとともに世界を巡る音楽物語です。
●日時 10月17日(土)午後6時30分(開場6時) ●会場 中里総合センター ●入場料 1,500円(全席自由) ●出演 宮本愛子さん・中路友恵さん(マリンバ&パーカッション)、伊沢磨紀さん(語り) ●曲目 「赤とんぼ」「アメイジング・グレイス」「剣の舞」ほか ●チケット取扱い 中央公民館・各地区公民館 ●問合せ 生涯学習課 (☎757-8918)

妻有街道歩け歩け大会

妻有郷から三国峠越えの街道を歩いてみませんか。イモ掘り、ざるそば、山賊汁を楽しめます。
●日時 10月11日(日)午前8時30分出発(受付8時) ※小雨決行 ●コース 市役所前〜六箇〜栃窪峠(約18km) ※帰りはバス ●参加費 大人1,800円、中学生以下1,000円 ※当日

星と森の詩美術館 第12回森の朝コンサート

オカリーナ奏者・五十嵐正子さんとエレクトーン奏者・斎藤純子さんの野外コンサートです。
●日時 9月27日(日)午前11時〜※大雨の場合中止 ●入場料 一般500円(美術館入場料込み)、中学生以下無料(美術館入館料別) ※入場券は当日のみ販売 ●会場 問合せ 星と森

徴収 ●定員 200人 ●申込み 10月4日(日)までに市総合体育館(☎752-4377)または川治公民館(☎752-2223)、六箇公民館(☎752-5434) ●問合せ 六箇体育協会・福崎(☎090-7408-0810)

夜間簿記講習会

基本から商工会議所簿記検定3級程度の実力を養成します。受講後には修了証を授与します。
●日時 9月25日(金)〜11月11日(水)午後7時〜9時(延べ20回) ●受講料 7,000円(会員6,000円) ※テキスト代1,200円が別途必要 ●定員 先着30人 ●講師 樋口紘一氏(川西高校キャリアアップサポーター) ●日商簿記検定試験日 11月15日(日) ●会場 申込み 問合せ 9月17日(木)までに、申込書に受講料を添えて十日町商工会議所(☎757-5111)

吉田中・下条中・南中 吹奏楽部合同演奏会

●日時 9月20日(日)午後2時(開場1時30分) ●会場 市民会館 ●入場料 無料 ●曲目 「笑点のテーマ」「川の流れるように」ほか ●問合せ 吉田中学

フラメンコフェスティバル in十日町

十日町市民館設置60周年記念事業です。
●日時 10月4日(日)午後5時(開場4時30分) ●会場 市民会館 ●入場料 2,500円(当日3,000円) ●内容 第一部 十日町フラメンコ教室「ソイ・ヒターナ」生徒発表、第二部 スペシャルフラメンコ「小田澄江フラメンコ舞踊団(群馬県前橋市)」公演 ●チケット取扱い 各公民館ほか ●問合せ ソイ・ヒターナ 入沢(☎768-3626)

中之島流十日町大正琴愛好会 第17回おさらい会

●日時 10月4日(日)午後1時30分(開場1時) ●会場 十日町商工会議所 ●入場料 無料 ●曲目 「赤いハンカチ」「シクラメンのかほり」ほか ●問合せ 柳(☎757-2826)

キナーレ体験工房 9・10月の着付け教室

●日時 9・10月の毎週木曜日 午後1時30分〜3時30分 ●参加費 1回500円 ※着物一式持

天地人リレー講演会 『北信濃国衆と上杉景勝・直江兼続』

市博物館・県立歴史博物館の共催で、直江兼続とその時代に関する講演会を行います。同時に、子ども向けの体験イベントも開催します。

- 日時 10月11日(日) 午後1時30分〜3時
- 会場 情報館 視聴覚ホールほか
- 入場料 無料 ●定員 先着100人
- 講師 村石正行さん(長野県立歴史館学芸員)
- 申込み 氏名・住所・電話番号を電話・はがき・FAX・メールのいずれかで県立歴史博物館交流普及講座係へ
〒940-2035 長岡市関原町1丁目字権現堂2247-1
☎0258-47-6135 FAX0258-47-6136
E-mail: koryu@nbz.or.jp

体験イベント「戦国武将に変身しよう」
直江兼続(愛の前立て)と上杉謙信の甲冑を着用します。
申込みは不要です。

●問合せ 博物館 ☎757-5531

キナーレ 第5回やせる教室

内臓脂肪を減らし、生活習慣病を予防しましょう。
●日時 10月1日(木)〜12月17日(木)の毎週木曜日午後7時30分〜9時15分
※10月15日・11月5日を除く(全10回) ●会場 明石の湯 ●対象 校・小林(☎752-2878)

第2回十日町市愛石会 水石展

愛好家による石の展覧会です。即売コーナーもあります。
●日時 9月19日(土)・20日(日) 午前10時〜午後6時(20日は5時まで) ●会場 クロス10 ●入場料 無料 ●問合せ クロス10 (☎757-2323)

防災・安全・復興に関する国際シンポジウム

中越大震災から5年の節目に、今後の防災・安全・復興に関する講演やパネルディスカッションを行います。詳しくは問い合わせてください。
●期日 10月16日(金)〜18日(日) ●時間(会場) 16日 午後1時〜(ホテルニューオータニ長岡) 17日 午前9時30分〜(ハイブ長岡)、午後1時〜(長岡技術科学大学) 18日 午前9時〜(中越大震災・中越沖地震の被災地視察) ●定員 各会場350人 ●申込み 問合せ 10月2日(金)までに(社)中越防災安全推進機構 (☎0258-36-8141)

●成人男女 ●参加費 全10回 コース15,000円(明石の湯入浴付き) ●定員 18人 ●講師 関口陽子さん(エリア・ドゥ) ●申込み 問合せ キナーレ (☎752-0117)

星と森の詩美術館 式場庶子展

五泉市在住の木版画家・式場

募集

22年4月1日付け採用の社員を募集しています。詳細は問い合わせください。●募集職種・人数 運輸関係従事員4人 ●応募 問合せ 9月18日(金)までに北越急行(株)総務課(☎025-770-2820)

警備業務技能講習会 受講者募集

●対象 55歳以上の人 ●募集人数 25人 ●受講期間 9月29日(火)〜10月2日(金)・5日(月)〜7日(水)(7日間) ●会場 サンクロス十日町 ●受講料 無料 ●申込み 問合せ 9月17日(木)までに(社)十日町地域シルバー人材センター(☎758-4809)

県立魚沼テクノスクール 介護ヘルパー養成科 11月入校生募集

●期間 11月10日(火)〜22年2月9日(火)(3か月間) ●会場 魚沼地域職業訓練センター(南魚沼市) ●対象 介護分野に就職を希望する人 ●受講料 無料 ※

テキスト代など自己負担あり
 ●定員 20人 ●申込み 10月2日(金)までに所轄のハローワーク
 ●問合せ 県立魚沼テクノスクール (☎025-794-2410)



市民ハイキング

●日時 10月4日(日)午前7時出発
 ●会場 斑尾山(長野県)
 ●対象 市内在住・在学・在職者
 ●参加費 2,500円 ●定員 40人
 ●申込み 9月25日(金)までに、申込み用紙を市総合体育館または榎滝沢印刷に提出
 ●問合せ 十日町市山岳協会・滝沢 (☎757-2191)

新潟アルビレックスBB プレシーズンゲーム 十日町大会

バスケットボール新潟アルビレックスBBが富山グラウジーズを迎えてプレシーズンゲームを行います。
 ●日時 9月27日(日)午後2時
 ●会場 市総合体育館
 ●入場料 高校生以上2,000円(当日2,500円)
 ●小・中学生1,000円(当日

1,500円) ●入場券取扱い 市総合体育館、市内スポーツ店ほか ●エキシビジョンゲーム 午前9時10分から市内小・中学生により実施 ●問合せ 十日町市バスケットボール協会事務局・藤巻 (農林課内 ☎757-9926)

「街中ウォーク」の開催日 が変更になりました

9月から、「街中ウォーク」の開催日が第1・3土曜日に変更となりました。いずれも午後6時30分からキナーレで受付、午後7時出発です。3kmと5kmの2コースがあります。皆さんといっしょにいい汗を流しましょう。
 ●参加費 100円(保険料) ●問合せ ネージュスポーツクラブ (☎752-6202)

十日町体力づくり支援センター グリーン牧場へ行こう!

秋のハイキングを行います。牛の乳搾り体験やシーブドックショーの観覧ができます。
 ●日時 9月21日(敬老の日) ●対象 幼児・児童 ●参加費 会員3,500円(非会員は4,200円) ●定員 先着40人 ●申込み・問合せ 9月15日(火)まで

に十日町体力づくり支援センター (☎758-3343)

十日町体力づくり支援センター 敬老の日無料開放

無料で施設を開放します。で、どなたでもおいでください。
 ●日時 9月21日(敬老の日) 午前10時~午後5時 ●会場・問合せ 十日町体力づくり支援センター (☎758-3343)



高齢者と障がい者の困りごと無料法律相談会

弁護士が相談にあたります。電話相談及び面接相談で、いずれも予約不要です。
 ●日時 9月26日(土)午前10時~午後3時 ●会場 県弁護士会館(新潟市) ●電話相談 ☎025-223-8252 または ☎025-223-8255 ●問合せ 県弁護士会 (☎025-222-3765)

巡回相談

南魚沼児童相談所と知的障害者更生相談所による、発達の遅れ・療育手帳の判定・不登校・

飯山線全線開通80周年記念イベント

9月1日(火)、飯山線が全線開通80周年を迎えます。その歴史は、大正10年の飯山鉄道による豊野~飯山間の開業に始まり、昭和2年には国鉄が越後川口~越後岩沢間と越後岩沢~十日町間を開通。昭和4年9月の十日町~飯山間開通により現在の運行区間が全線開通となりました。これを記念して、イベントを開催します。当日は、関口市長が1日駅長となります。

●期日 9月19日(土) ●会場 JR十日町駅構内

●内容
 ①午後0時19分に十日町駅に到着するイベント列車(DD16、旧型車両客車3両)をミス十日町、いずみ保育園園児、市民吹奏楽団がお出迎えします。
 ②午後2時30分に長野市へ向けて十日町駅を出発する列車を関口市長、ミス十日町、北越保育園園児、民謡協会、舞踊協会、市民吹奏楽団がお見送りします。
 ※このほか、駅構内に市内保育園児が描いた列車などの絵を展示
 ●問合せ 観光交流課観光企画係 ☎757-3100



秋の農作業安全運動実施中

毎年この時期には、コンバインなどによる事故や田畑への行き帰り途中での事故が多発しています。常にゆとりを持った作

あさひたね

▼連載中のべり中里玉さがし。毎月、集落の区長さんからの紹介で誌面作りをしています。今回の桔梗原集落でも、区長さんを始め、集落の皆さんにお世話になりました。取材はたくさんの方の協力のおかげでできています。紹介いただく集落の宝物、それらはみんなその土地に住む人で作り上げたものです。一番の宝物はそれを作った集落の人たちだと思っています。▼今年初めて夜に放送される甲子園のダイジェスト番組を楽しみにしていました。日本文壇の大活躍、選手のみならず、プレイングや真剣な眼差し、そして決勝戦9回2アウト10対4からの連続5得点の猛追に熱い応援をされた方も多かったことと思います。次の打者へつなげようとするあきらめな姿勢と試合終了後のさわやかな笑顔がとても印象的でした。



(石)

寄付ありがとう 8月25日届出分まで(敬称略)
 ●とおかまち応援寄附金へ=中島健児(東京都八王子市) 田代富保(埼玉県熊谷市) 寺尾進(神奈川県横浜市) 足立亜維子(東京都目黒区) Pope Rory(東京都渋谷区) 小川隆彦(東京都目黒区) 水野良昭(東京都武蔵野市) 植田徹(東京都中野区)
 ●情報館へ=十日町ロータリークラブ(2,000,000円) 保坂増栄(田中町) 南雲隆三(三領) 山本文子(名古屋千種区) 渡邊セツ子(糸魚川市)

地域に出かけます サタデー市長室のお知らせ

市民と市長が直接対話する「サタデー市長室」を行っています。10月からは各地域に出かけて実施する日を設けます。参加を希望する場合は以下により申し込んでください。

●実施日(会場)
 10月24日(川西支所) 11月14日(中里支所)
 11月28日(松代支所) 12月12日(松之山支所)
 ※次の実施日は本庁舎市長室で行います。

10月10日 12月26日 1月9日・23日
 2月13日・27日 3月13日・27日

●対象者 原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体(10人以内)
 ●申込み方法 氏名、年齢、住所、電話番号、市長と話したい内容などを明記のうえ、事前に申し込んでください。受付は先着順(開催日の3日前締め切り)
 ●対話時間 午前9時~正午(1組1時間以内)
 ●出席者 市長/関係職員など
 ●その他 市長公務の都合などにより、実施できない場合があります。内容により、対談によらず電話対応や文書回答することがあります。

●申込み・問合せ
 (各支所開催:地域振興課行政・防災係)
 ◆川西支所 ☎768-4951 ◆中里支所 ☎763-2511
 ◆松代支所 ☎597-2220 ◆松之山支所 ☎596-3131
 (本庁開催) ◆総務課広報広聴係 ☎757-3112

▼8月下旬、東京から友人がやってきました。1泊2日の短い間、現況報告や思い出話に花を咲かせつつ、芸術祭をあちこち巡りました。▼彼女の滞在中にちょうど行われた地元の小さな祭り。せっかくなので境内に連れて行き、神社のすぐ近くで打ち上げられる花火を見たところ、彼女にの輪に加わったりしたところ、彼女にとって新鮮な体験だったようで、思いがけずとても感動してくれました。「大きい祭りもいいけど、こういう地域の祭りもすくすくいい」と言葉に、もてなす立場のこちらも感動しました。▼稲の穂も垂れ、爽やかな秋が近づいてきました。楽しい夏のお礼に、お米好きの彼女へ、どんな小包を送ろうか思案中です。



(五)



とんでった
このぼり



池田 ^{たける} 越さん(2年)

学校のこのぼりが、ぎんのうちゅうをこえて、ゆめのせかいまでとんでいった絵です。このぼりの色がきれいになるようにがんばりました。



ゆめぞら号



いろは
大津色葉さん(4年)

電車ごっこという石像を描いていたら、ゆめぞら号が来たので、いっしょにしたらおもしろいと思いました。石像の色は暗かったけれど、楽しいように明るく描きました。



ジュニア芸術祭

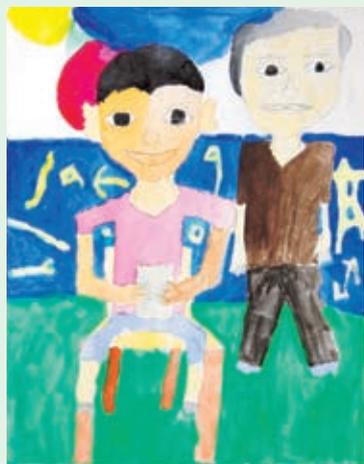


フワフワクローバー



りな
大島李奈さん(5年)

クッキーの型でハートを作っていたら、このハートでクローバーを作ることを見つけました。細かいビーズを一つ一つつけました。



橋本 ^{りょう} 龍さん(4年)

大好きな柏崎のおじいちゃんの家に行ったとき、ジュニアサイエンスに行きました。工作でミニプラネタリウムや日光写真を作りました。目のところがつまぐ描きました。

ジュニアサイエンスに行ったとき



夏の海



さつき
西山颯稀さん(6年)

家族と従妹と柏崎に行ったときの絵です。テトラポットのところで泳いだのが楽しかったです。色の濃さを変えて海の浅い所と深い所を描きました。

51

飛渡第一小学校



時計台と石像



こころ
大津心さん(6年)

公園で時計台と石像を描きました。石像を目立たせるために、前の方を濃く、後ろの方を薄く描くようにしました。時計台の色も工夫して塗りました。

市民の動き

■ 人 □ 60,863人 (-57) 男 29,784人 (-33) 女 31,079人 (-24)
■ 世帯数 20,006世帯 (-4) 8月末現在 () は前月からの増減